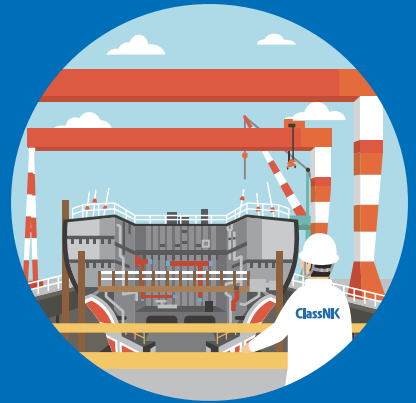
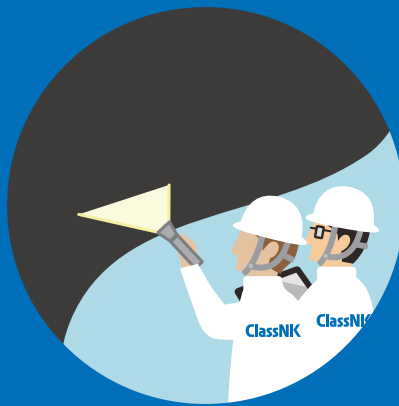


Introduction to

ClassNK

[日本語 / Japanese]



CHARTING THE FUTURE 

経営理念

ClassNKは国際船級協会として、人命及び財産の安全、環境の保全を通じて、社会発展に貢献する。

ビジョン

- 社会の変化を先取りして持続可能なより良い社会創りに貢献する組織
- 取り巻く事業環境の変化に柔軟に対応できる組織
- お客様・社会から信頼され、経営基盤が安定した組織

変わる時代に、変わらぬ信用と信頼で社会を繋ぐ

一般財団法人日本海事協会（ClassNK）は、人命及び財産の安全、環境保全への貢献を使命に、非営利の第三者認証機関として、検査、証明、規則制定、研究開発などを行っています。

ClassNKは125年以上の歴史にわたり、船級協会として、中立な第三者の立場から船舶の安全確保のための規則制定と検査を担い、商船の保険付保に必要となる「船級」を登録しています。

船舶・海洋構造物に関わる船級規則に基づき、船体構造、機関、艀装品、材料、その他各種システムなどに関わる図面審査及び立会検査を実施、基準に適合した船舶に船級を付与しています。ClassNKの船級を有する船舶の隻数は9,000隻以上、隻数において世界最大*の船級協会です。

ClassNKは技術団体として広く信頼されており、国際条約や地域規制に基づいて、船舶の船籍国（旗国）が実施すべき検査及び証書発行の代行権限を100か国以上から取得しています。

また、第三者認証機関としての長年の知見と経験を活かし、品質、環境、労働安全衛生など様々なマネジメントシステム認証、GHG排出量の検証、再生可能エネルギー関連設備、陸上物流、航空燃料、ドローンに関わる認証など、そのフィールドを拡大しています。

気候変動をはじめとした環境問題、デジタル化による社会の変革に対応し、企業が信頼性・持続性の確保の視点からより高いレベルを目指した取り組みを進める中、こうした取り組みへの評価・認証へのニーズが増大しています。ClassNKは幅広いニーズに迅速かつ的確に応える認証サービスを提供し、お客様の事業や社会の発展に積極的に貢献してまいります。

* © Clarksons Research統計（2025年末現在）



環境に関わる課題解決

環境汚染や気候変動に関わる規制が国際的に強化される一方、規制対応にとどまらず、脱炭素をはじめとした環境に対する責任ある行動があらゆる事業活動に求められています。

船舶からの海洋汚染の防止を出発点として、ClassNKは常に環境保全のための業務を行ってきました。規制適合に関わる適切な検査・証明の実施、関係者の規制対応をサポートするソリューションや情報の提供、規制への対応にとどまらない取り組みへの認証サービス、パートナーシップを通じた低炭素・脱炭素技術の研究開発などにより、環境に関わる課題解決に取り組んでいます。

デジタルトランスフォーメーション

デジタルトランスフォーメーションが社会全体を変革していく中、ClassNKは、デジタル技術を活用した自らのサービス向上への取り組みを進めると共に、産業全体がデジタル化の成果を最大限に活用するための基盤整備を目指しています。

船舶の自動・自律運航、状態監視、ICTを用いた遠隔検査、サイバー脅威への対応などデジタル技術の安全かつ円滑な利用の促進、明確な評価基準が確立されていない革新技術に対し、技術的先駆者と協働しての基準策定・認証、海事産業のデータ収集・流通・活用プラットフォームの普及、といった活動を積極的に展開しています。

ClassNKのスローガン

“CHARTING THE FUTURE”はClassNKの経営理念、ビジョンなどをふまえ、お客様、そして社会の針路がより良い未来へ向かうよう貢献するというClassNKの姿を示すものです。脱炭素化、デジタル化が進む中、広い視野、柔軟な発想と変化に積極的に貢献していく意識を持ち、CHARTING THE FUTURE精神で、お客様とともに未来の海事社会を築いてまいります。



沿革

- 1899 前身となる帝国海事協会創立
- 1903 船舶検査規定公表
- 1919 米ABS、伊RINA、英BC（後にLRへ吸収）と四船級協会連盟結成
- 1920 初の船級船「華南丸」を船級登録
- 1921 鋼船規則初版発行
- 1924 船級登録簿（Register Book）初版発行
- 1926 国際海上保険業者協会がClassNK船級を受入
- 1934 船舶安全法により日本の船級協会として認定
- 1946 日本海事協会に名称変更
- 1952 再び保険業者協会がClassNK船級を受入
- 1962 海外拠点（ロンドン、ニューヨーク）を初開設
- 1968 国際船級協会連合（IACS）に創立メンバーとして加盟
- 1993 ISO審査を開始
- 1997 船級登録船1億総トン
- 2012 船級登録船2億総トン
- 2018 船級登録船2億5千万総トン



有栖川宮威仁親王
（初代総裁）



沢沢栄一
（発起人の一人）

埼玉県深谷市所蔵

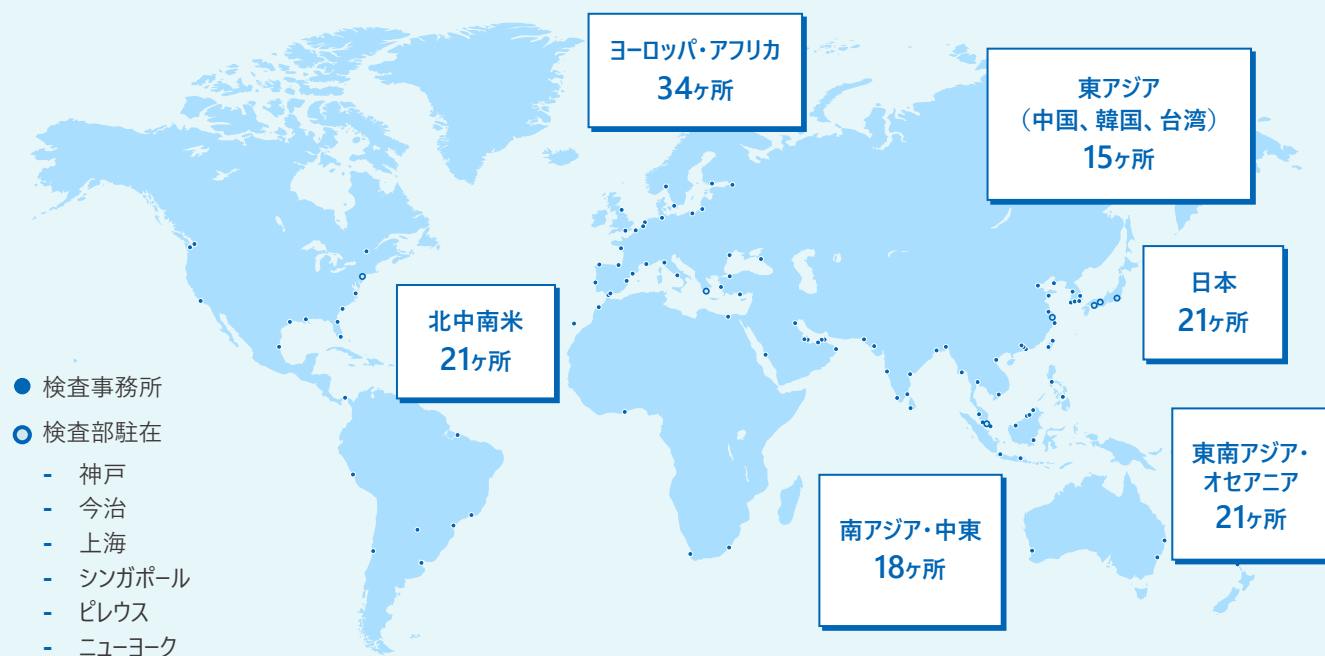
サービス概要

- 船級規則の制定改廃
- 製造中及び就航後の船舶・海洋構造物の船体構造、機関設備、電気及び自動化設備、安全設備、航海機器、揚貨装置、材料などに関わる図面審査及び立会検査
- 各種製造者、サービス事業者の承認
- 国際条約や地域規制に基づく検査及び証書発行
- 船舶などに関わる第三者鑑定、証明
- 品質、環境、労働安全衛生などISO基準に基づくマネジメントシステム認証
- GHG排出量の検証
- 再生可能エネルギーに関わる認証
- 交通物流分野の認証
- 材料試験機などの検査
- 官公庁船の検査、技術サービス
- 独自及びパートナーシップを通じた研究開発
- 人材育成



ネットワーク

50ヶ国以上、約130ヶ所の専任検査員事務所を世界中の主要港や海事都市に配置し、24時間365日切れ目なくサービスを提供しています。



ClassNKグループ

ClassNK及びグループ会社では、安全、環境、デジタル、その他業界課題への多様なソリューションを展開しています。



シップデータセンター

イノベーションの創出や業務改善機会の最大化を目指し、公正で公平なデータ流通を実現するため、船舶運航データ共有基盤IoS-OP(Internet of Ships Open Platform)と、その運用を支える組織として参加者主導で活動するIoS-OPコンソーシアムの運営を行っています。



NAPA

フィンランドの本社を含む世界10か国の拠点より、船舶の設計及び運航の安全性、効率性、生産性を向上させるソフトウェアを提供しています。世界の新造船の95%が同社ソフトウェアのユーザーにより設計されています。



船級・条約

■ 船級協会としての業務

船級と船級協会

「船級」は、18世紀半ばの英国で開始された海上保険を適用する際の船舶の等級付け（Classification）を起源とします。利害の対立する保険業者、船舶所有者、造船業者のいずれからも独立し、第三者としての公平な技術的判断を担う組織へのニーズから誕生したのが船級協会です。

船級協会は、船舶の安全性などに関わる基準を規則として定め、設計・建造段階の図面審査及び現場検査によって規則へ適合する船舶に船級を付与します。就航後も定期的な検査を通じて船級の維持を確認し、船舶の安全性を証明するのが元来の機能となります。船級は国際的な第三者認証の仕組みの原型とも言われ、主に海運が盛んな国において船級協会が設立されています。

現在でも、保険会社の業界団体は、海上保険引受の条件の一つとして、世界の主要な船級協会で構成される国際船級協会連合（IACS）のメンバーの船級を有することを定めています。

船級規則の制定改廃

ClassNKは船舶の安全確保、環境汚染防止に関わる規則を制定し、その規則に適合した船舶を船級登録します。ClassNKの規則は、より安全かつ合理的な基準となるよう、最新の調査・研究の成果、業界要望、条約など国際的なルールを随時反映させ、継続的に制定改廃されています。

ClassNKの規則は、設計段階における船体構造をはじめ、船舶に使用される材料、船舶に搭載される機器や艤装品など、就航後の船級維持のための船舶検査について規定しています。また、造船所

や関連会社（船舶の建造、修繕、保守などに関連する会社）の品質に対しても適用されます。

ClassNKの規則は電子版規則“ClassNK RuleViewer”としてウェブサイトにて公開されています。

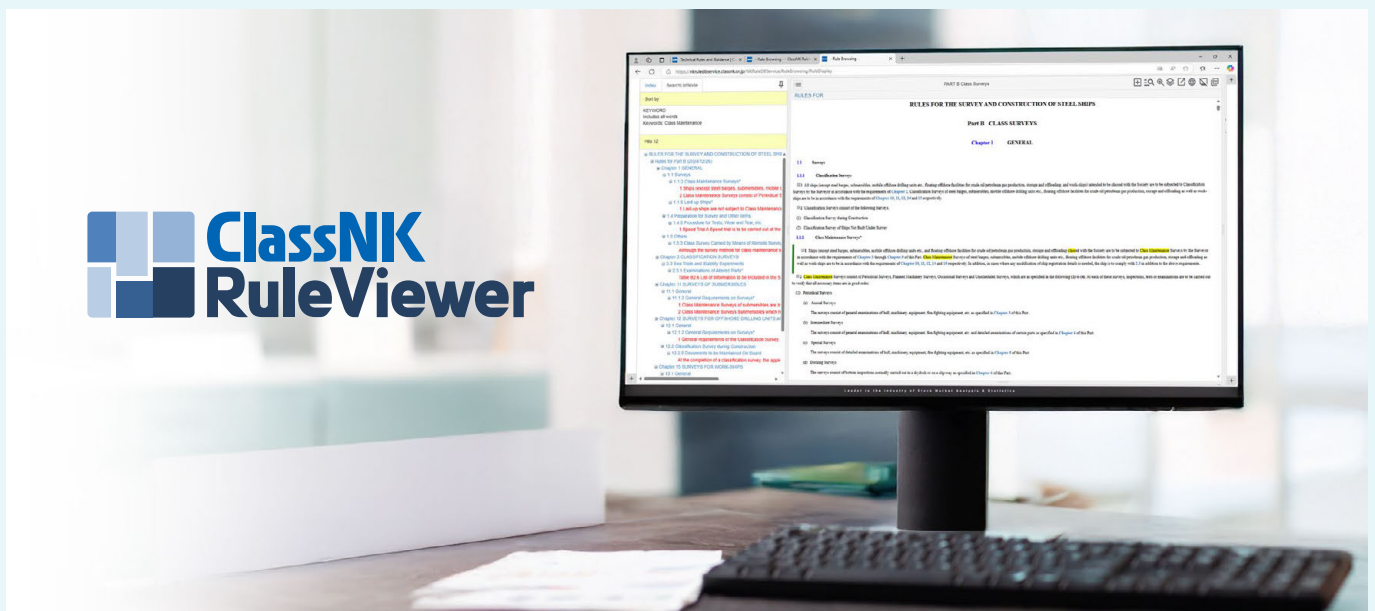
事業所承認

船級船に用いられる材料や機器類を製造する事業所、建造中や就航後の安全設備・機器の整備や各種計測に従事する事業所について、規則に基づき、品質システム、製造技術、設備などを審査し、製造事業所／サービス提供事業所として承認しています。

材料、機器及び艤装品の検査、承認

船級船に用いられる材料、機器、艤装品の検査、承認業務を行っています。規則に基づき、個品の検査、製造方法承認、標準構造図・型式承認、量産機器承認、形式試験、原型承認、使用承認などを、製品に応じて実施しています（以下列）。

- 圧延鋼材、鋳造品、鍛造品
- 原動機、ボイラ、甲板補機、機関室補機他船用機器
- アンカー、アンカーチェーン、係船ロープなど
- 防火構造材料、溶接用材料、油密被覆材料、塗装システム、空気音遮断材料など
- 救命艇、救助艇、進水装置、火災探知警報装置など
- 自動化機器・装置、ガス運搬船用低温弁、空気管頭、液面計測装置など
- 海洋汚染防止設備

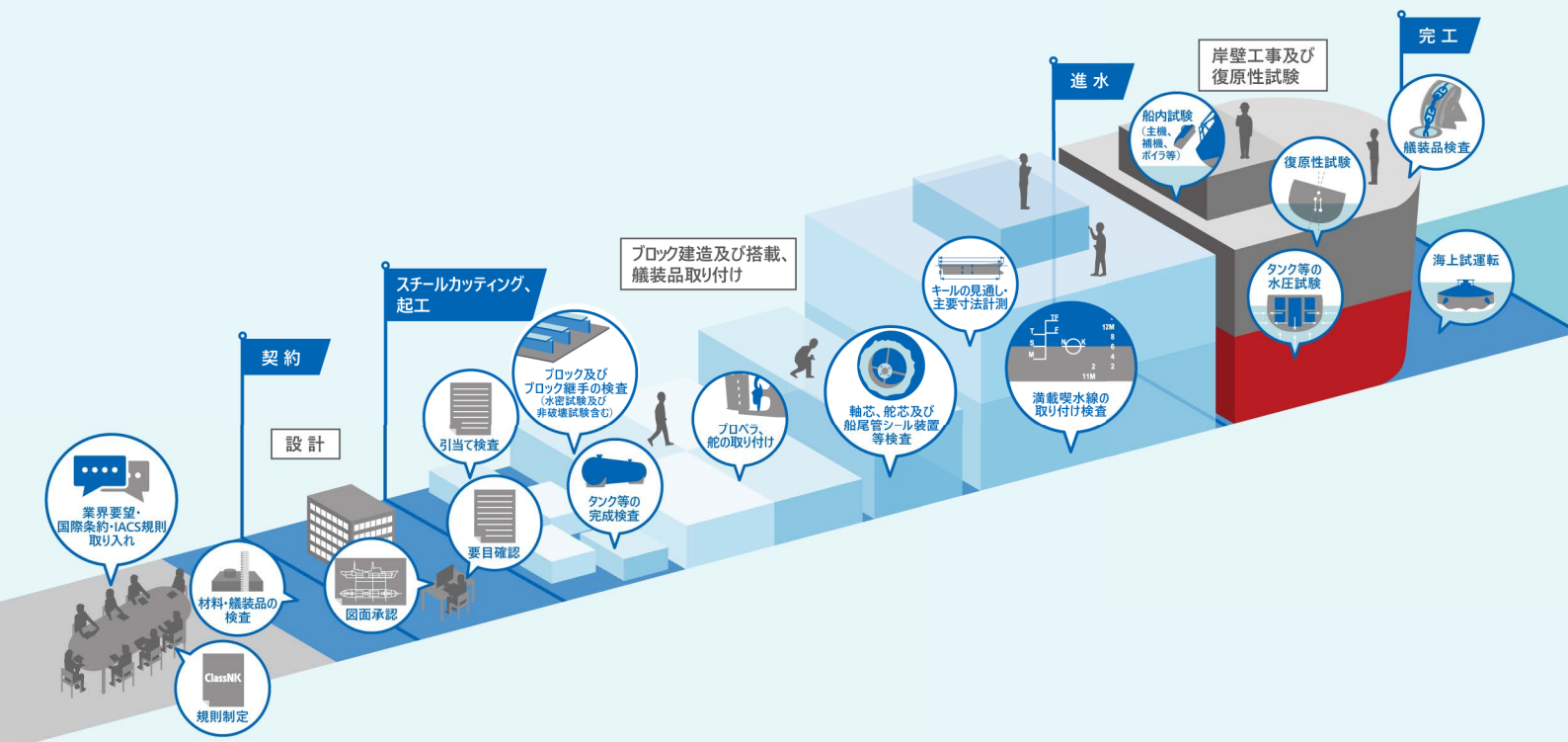


製造中登録検査

船舶を船級登録するため、建造の各段階にわたってClassNKの製造中登録検査が行われます。船舶の様々な設計図面は、規則に基づき、本部もしくは海外図面承認センターで審査されます。建造が開始されると、検査員は船舶に用いられる材料、機器及び艤装品などが承認されたものであることを確認し、建造プロセスが承認された設計図面及び規則に従って行われているかを検査します。設計図面の審査、建造中の検査、海上試運転時の検査を経て、製造中登録検査が完了した船舶には、船級証書が発行されると共に、船級登録されたことが“Register of Ships”により、全世界に公表されます。ClassNK船級を有する船舶は、世界中の保険業界から一定の基準を満たす船舶として認められ、海上貨物保険に最優遇の料率が適用されます。



製造中登録検査のプロセス



船級・条約

船級維持検査

船級証書の有効期間は5年間ですが、規則に定められた定期的検査及び必要に応じた臨時検査の受検が船級維持の条件となります。定期的検査は毎年1度必ず実施されます。

ClassNKは世界中の港湾、船渠、洋上などにおいて、速やかに船級維持検査を受検できる体制を整備し、就航中の船舶の円滑な運航を支えています。

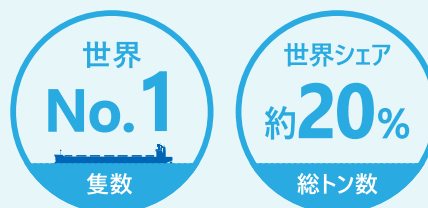
製造後登録検査

世界の主要な船級協会で構成される国際船級協会連合（IACS）のメンバーの定めた規則に適合して建造、登録された船舶は、IACS Transfer of Class Agreement（TOCA）に規定される手続きに従い、製造後登録検査を完了することにより、ClassNK船級船としての登録が可能です。

ClassNK船級船

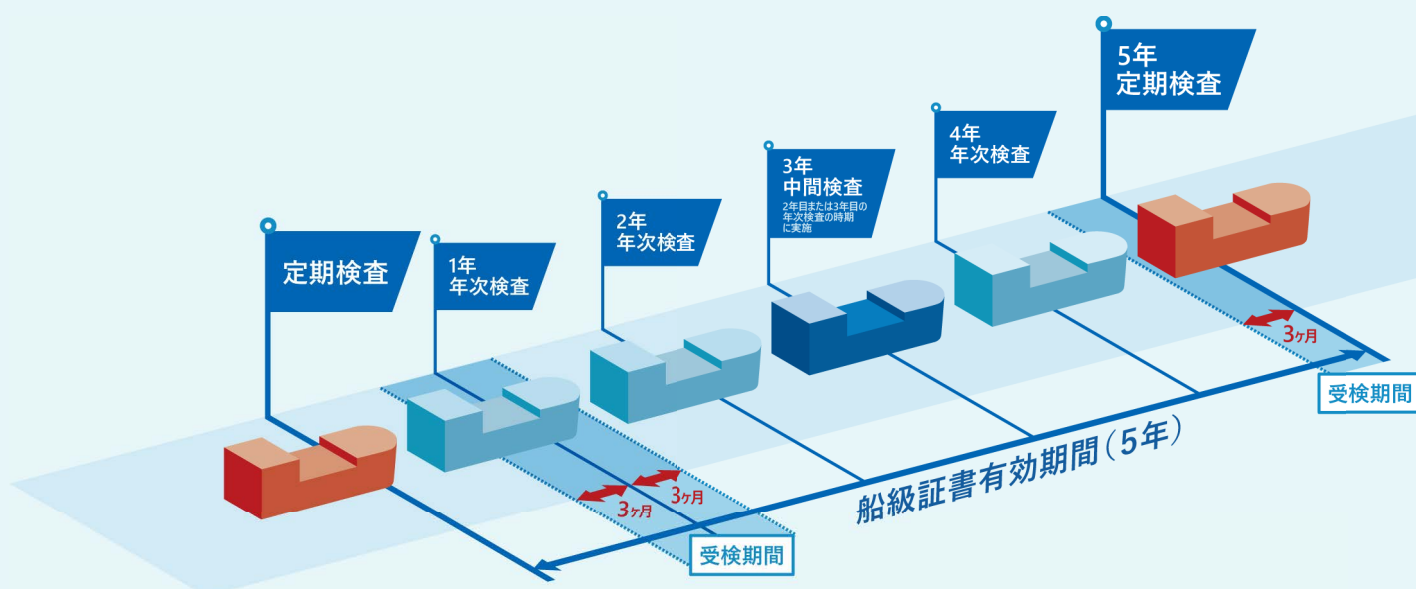
2025年末時点で、ClassNKには9,677隻、約2億8,339万総トンの船舶が登録されています。

ClassNKは、IACSメンバー協会の内、隻数において最大*、総トン数においてシェア約20%を占めています。



* © Clarksons Research統計（2025年末現在）

船級維持検査のプロセス



■ 政府代行機関としての条約関連業務

世界中で旅客や貨物を輸送する商船は、安全や環境汚染防止などに関わる国際的に統一された最低要件への適合が求められ、これらの要件が国際条約として定められています。国際条約は国連の専門機関である国際海事機関（IMO）等において制定され、適合の確認は船舶の国籍が登録されている国（旗国）の政府が実施することになっています。条約によっては、船舶に加えて、船舶の管理会社なども対象となります。

船級協会として培った豊富な知見と世界各地に多数の拠点を有するClassNKは、旗国政府から国際条約に基づく検査・審査及び証書発行を代行する権限を与えられています。ClassNKが携わる代表的な国際条約を紹介します。

国際満載喫水線条約（ICLL）

波の打ち込みなどに対する船舶の安全性確保を目的に、満載喫水の限度（従って、貨物の積載限度）及び船体の水密性に関する要件などが規定されています。

海上人命安全条約（SOLAS）

船舶の乗船者の生命や搭載される財産である貨物を守ることを目的に、船舶の構造に関する要件や、備えるべき防火設備、救命設備及び無線設備などが規定されています。

海洋汚染防止条約（MARPOL）

海洋環境の保護を目的に、船舶からの油・ばら積み有害液体物質・汚水による海洋汚染防止、またNOx、SOx/PM、CO2他排出ガスによる大気汚染防止のための要件が規定されています。

国際海上衝突予防規則（COLREG）

海上での船舶の衝突予防を目的に、船舶の海上交通に関する航海方法、船舶の種類や航海の形態（曳航船、作業船等）による表示信号灯や信号標識などが規定されています。

国際トン数条約（TM69）

船舶の容積を表す「総トン数（Gross Tonnage, GT）」について、国際的に統一された測度（算定）方法が規定されています。

国際安全管理コード（ISM Code）

船舶の安全運航における人的要因からの対策を目的に、船舶管理会社による安全管理システム（SMS）の構築、会社（陸上）及び船上におけるSMSの実施などが規定されています。

船舶と港湾施設の保安のための国際コード（ISPS Code）

テロや海賊といった脅威からの船舶と港湾施設の保安を目的に、船舶管理会社による船舶保安計画（SSP）の構築、船上における同計画の実施などが規定されています。

ILO海上労働条約（MLC, 2006）

船員の労働条件の改善と海運産業の公正な競争条件整備を目的に、船舶所有者による船員の労働及び居住条件等の要件への適合措置の構築、船上における同措置の実施などが規定されています。

船舶の有害防汚方法規制条約（AFS）

海洋環境及び人の健康を保護するため、船体に貝などの海洋生物が付着するのを防止するために用いられるTBT（トリブチルスズ）などの有害物質を含む船底防汚塗料の使用規制が規定されています。

バラスト水管理条約（BWM）

船舶のバランスをとるために積み込まれるバラスト水の排出により、環境や人の健康、経済活動に対して有害な水生生物が越境移動しないよう、バラスト水の管理要件が規定されています。

シップリサイクル条約（HKC）

老朽船舶の解体作業、再資源化における労働者の安全や周辺環境の保護を目的に、船舶及び船舶リサイクル施設において安全かつ環境上適正なリサイクルを実施するための要件が規定されています。

[シップリサイクル紹介ページ](#)



サイバーセキュリティ

船舶のサイバーセキュリティについて積極的に情報を発信し、サイバーセキュリティの確保に向けた対応検討を支援します。

従来の船用システムは主に物理的な接続や制御に依存しており、外部からの不正アクセスなどの脅威を深く考慮する必要はありませんでした。しかし近年、コンピュータやインターネットを介してシステムがデジタル的に相互接続されるようになり、船用システムはサイバー空間にさらされ、サイバー攻撃のリスクが高まっています。サイバー攻撃は船用システムの安全性や信頼性を損なうだけでなく、海上における人命や財産の安全、さらには海洋環境の保全にも影響を及ぼす可能性があります。ClassNKは、これらの課題への対応として関心が高まっているサイバーセキュリティに関する取り組みを支援しています。



サイバーセキュリティ紹介ページ

IACS UR E26/27

国際船級協会連合（IACS）の統一規則であるUR E26/E27への円滑な対応を支援すべく、「船舶のサイバーレジリエンスに関するガイドライン(UR E26)」、「船上のシステム及び機器のサイバーレジリエンスに関するガイドライン(UR E27)」を発行しています。これらのガイドラインでは、主に造船所、船主、船舶管理会社の皆さま向けに、規則の適用範囲、承認プロセス、提出資料、および立会検査の詳細について解説しています

また本会ホームページでは、解説動画やFAQ(適宜アップデート)も提供しております。

サイバーセキュリティマネジメントシステム (CSMS)

船舶運航の安全確保を目的として、会社及び船上でのサイバーセキュリティに関するマネジメントシステムの確立、実施、維持、及び継続的な改善のための具体的な活動指針として、「船舶におけるサイバーセキュリティマネジメントシステム」を2019年に発行しました。運航段階のみならず、船舶の設計・建造段階からのサイバーリスクへの保護に関わる管理策を提示しています。また、サイバーセキュリティに取り組む企業に対して、本ガイドラインに基づいたサイバーセキュリティマネジメントシステム(CSMS)の認証を実施しています。認証を取得した組織は、所定のロゴを使用し、その取り組みを対外的に示すことが可能です。



ClassNK サイバーセキュリティアプローチ

船舶のサイバーセキュリティ対策の階層

- 1 ソフトウェア・ハードウェア装置による対策
- 2 「装置対策」の健全性を保つための運用対策
- 3 「運用対策」の健全性を保つための運用対策
- 4 情報セキュリティマネジメントとして設計する組織的な対策
- 5 サイバーリスクを低減した船用製品の開発

ClassNK サイバーセキュリティシリーズ

- 1 船舶におけるサイバーセキュリティデザインガイドライン
対象 造船所及び建造船主
■ NIST SP800-82を参考に、NIST 800-53の中で船舶に適用できるものを抽出
■ IACS Rec. の内容を精査
- 2 船舶におけるサイバーセキュリティマネジメントシステム
対象 船舶管理会社及び船舶
■ ISO27001及び27002の基本構造を参考にし、ISMコード体系との親和を図ったマネジメントシステム
- 3 ソフトウェアセキュリティガイドライン
対象 船用機器メーカー
■ ISO/IECの関係規格をベースに船用に必要な要素を抽出したガイドラインに基づき、その開発プロセスと機能要件を検証する

ClassNK トランジション サポート サービス

船舶からのGHG排出量の削減をサポートする包括的なサービスを提供しています。

温室効果ガス（GHG）排出削減が国際社会全体で喫緊の課題となる中、海運業界においても船舶からのGHG排出削減に対する圧力が高まっており、IMOやEUでは環境規制が強化されています。

このような規制環境の下、GHG排出を計画的に削減するためには、ゼロエミッション燃料船の導入などの中長期を見据えた対応が不可欠です。しかしながら、ゼロエミッション燃料の供給体制は現時点で十分に整備されてはおらず、そのため、現時点では様々なGHG排出削減手段を活用しながらゼロエミッションへの移行を進める必要があります。

ClassNKは、お客様のゼロエミッションへの円滑な移行（トランジション）を包括的にサポートすることを目的として、「ClassNK トランジション サポート サービス」を展開しています。本サービスでは、GHG排出削減をご検討中のお客様をサポートするための多様なメニューを用意しており、お客様のニーズに合わせた最適なGHG排出削減ソリューションをご提案します。

ClassNK トランジション サポート サービス紹介ページ



ClassNK Transition Support Services

代替燃料サポート (アンモニア / メタノール / LNG / LPG / バイオ燃料)

導入サポート	<ul style="list-style-type: none">● ClassNK 代替燃料インサイト● コストシミュレーション● 安全要件
テクニカルサポート	<ul style="list-style-type: none">● 新造船・レトロフィットサポート
オペレーションサポート	<ul style="list-style-type: none">● オペレーション・船員訓練支援● バイオ燃料の使用
認証サポート	<ul style="list-style-type: none">● 燃料認証● GHG削減効果の認証● メタンスリップの実測値の認証

燃費改善サポート

燃費改善サポート	<ul style="list-style-type: none">● 燃費改善効果の推定● 燃費改善技術の導入支援
----------	---

船上CCSサポート

導入サポート	<ul style="list-style-type: none">● 動向● 安全要件
認証サポート	<ul style="list-style-type: none">● 回収されたCO₂量の認証

GHG排出マネジメントサポート

GHG排出 マネジメントツール	<ul style="list-style-type: none">● ClassNK MRV Portal● ClassNK ZETA
--------------------	---

規制を理解する

国際海事機関(IMO)	<ul style="list-style-type: none">● IMO GHG削減中期対策の解説● ホワイトペーパー 「国際海運ゼロエミッションへの道筋」
欧州連合(EU)	<ul style="list-style-type: none">● 海運EU-ETS対応に関するFAQ● FuelEU Maritime対応に関するFAQ

認証サービス

様々なビジネスを支援すべく、品質、環境、労働安全衛生他のマネジメントシステム、海技教育訓練、温室効果ガス排出量、交通物流などに関し、必要な認定の下、第三者認証サービスを提供、その範囲を拡大させています。

■ マネジメントシステム関連

ClassNKは、従来から船級検査の一環として造船所、機器製造所等で実施されている品質システムの審査を数多く手がけてきました。長年にわたり培われた経験と実績に基づき、本会は各種マネジメントシステムを規格要求事項に従って審査する業務を実施しています。本会の審査に合格した事業所は、それぞれの規格要求事項に適合したマネジメントシステムを有する事業所として登録され、登録証書が発行されるとともに登録簿で公表されます。

- ISO 9001（品質マネジメントシステム）認証
- ISO 14001（環境マネジメントシステム）認証
- ISO 45001（労働安全衛生マネジメントシステム）認証
- ISO 50001（エネルギーマネジメントシステム）認証
- ISO 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）認証
- ISO 39001（道路交通安全マネジメントシステム）認証
- ISO 22163（鉄道品質マネジメントシステム）認証
- ISO 31512（コールドチェーン物流サービス）認証
- サイバーセキュリティマネジメントシステム認証
- HSE（労働衛生・安全・環境マネジメントシステム）認証
- バイオセーフティマネジメントシステム認証

■ 海技教育訓練

ClassNKは、海技教育訓練コースの認証をはじめ海技教育訓練分野での認証を行っています。

優秀な船員の確保は海運経営において不可欠の要素です。技術革新によって運航技術そのものも高度化を続けており、これらの状況に対応した船員の訓練の充実・強化は、経営のみならず、世界の海の安全、環境保全上での重要性を増しています。

ClassNKの海技教育訓練の分野における認証サービスが、船員確保に関わる広範なニーズにお応えします。

また、海技教育訓練分野の認証と合わせ、海技教育訓練コースのインストラクター向けの講習を提供しています。

■ 温室効果ガス（GHG）

ClassNKは、ISO国際規格等に基づき、工場、運輸部門等からの温室効果ガスの認証業務を行っています。

温室効果ガスの排出量や削減量については、地球温暖化対策や省エネルギーの推進の観点から、法令等に基づき算定が義務付けられるケースが増えています。また、こうした公的要請に加えて、近年では企業の社会的責任（CSR）の一環として自主的に排出量を算定し、環境報告書等で公表する企業も増えており、将来的には、こうした温室効果ガス排出量・削減量を企業間の排出量枠の取引に用いることも検討されています。

このような状況に鑑み、ClassNKは企業等が算定した温室効果ガスの排出量・削減量について、日本国内はもとより海外を含めた陸・海・空、全般において、公正中立な立場から認証を行い、その妥当性を証明する業務を行っています。

ClassNKはISO 14065に基づきISO14064-1、ISO14064-2、ICAO CORSIAにおいて日本適合性認定協会（JAB）の認定を取得しています。

- ISO14064に基づくGHG排出量検証
- SHIFT事業検証（環境省委託業務）
- J-クレジット制度検証（経済産業省委託業務）
- 国際航空分野のGHG排出量検証（ICAO CORSIA）
- 環境パフォーマンス検証
- クリーンシッピングインデックス（CSI）検証
- クリーンカーゴワーキンググループ（CCWG）検証
- グリーン鋼材に関わる検証

p.9 ClassNK トランジション サポート サービスもご参照下さい。



労働環境・就労

人手不足が社会課題になっている中、運輸産業においても人材確保が深刻化しています。ClassNKは適正な労働環境への認証をはじめとした様々なアプローチでこの課題解決をサポートします。

- 技能実習評価試験（溶接職種）
- 特定技能試験
（自動車運送業分野及び造船・船用工業分野）

[特定技能試験申請ポータルサイト](#)



- 運転者職場環境良好度認証（働きやすい職場認証）
国土交通省より認証実施団体として選定

[働きやすい職場認証サイト](#)



無人航空機

ドローンをはじめとする無人航空機は、空撮、農薬散布、測量、インフラの点検等幅広く利用されています。今後、都市部を含む物流や警備等さらなる活用の拡大により、社会が抱える様々な課題を解決に導き、産業、経済、社会に変革をもたらすことが期待されています。

ClassNKは、以下の認証・試験機関として、無人航空機の活用機会の拡大への貢献に努めています。

- 無人航空機の型式認証・機体認証の検査
国土交通省より登録検査機関として登録

[無人航空機登録検査機関サイト](#)



- 無人航空機操縦者技能証明（操縦ライセンス）試験
国土交通省より指定試験機関として指定

[無人航空機操縦士試験案内サイト](#)



イノベーションエンドースメント

革新技術や取り組みをサポートするため、
その実現可能性や価値の裏付けを行う第三者認証を提供しています。

持続可能な社会の実現に向け、企業がESGに配慮した経営やSDGsの追求を進める中、課題解決のための様々な革新が求められています。ClassNKは、この革新的な取り組みの実現可能性と価値に裏付けを与える第三者認証として「イノベーションエンドースメント」を提供しています。「船舶」、「機器・ソフトウェア・ソリューション」、「組織」の3つのカテゴリーを認証対象として、サービスを展開しています。



[イノベーションエンドースメント紹介ページ](#)

ClassNK Innovation Endorsement

Ships

認証対象

先進的な取り組みを行う
船舶



- 船級証書へのNotation付記により船舶の付加価値PRをサポート
- 4種類のNotationを提供
 - デジタル DSS
デジタルデータ/技術活用による航海の改善
 - 環境 a-EA
推進性能向上の取り組み
海洋環境浄化の取り組み
 - 安全 a-SAFE
事故防止向上の取り組み
 - 労働 ELW
労働環境改善の取り組み

Products & Solutions

認証対象

革新的な機能を有する
機器・ソフトウェア・ソリューション



- 製品やサービスの展開をサポート
- 「船舶」に対するNotationとの連携で搭載の促進をサポート

認証事例

各種モニタリング/データ解析、船陸通信、遠隔サポート、サイバーセキュリティ支援、運航サポート、ウェザールーティング、燃費向上

空気潤滑装置、マイクロプラスチック回収装置

AR活用、離着岸支援

食料品鮮度維持

ジャストインタイムの実現、ローブ検査技術

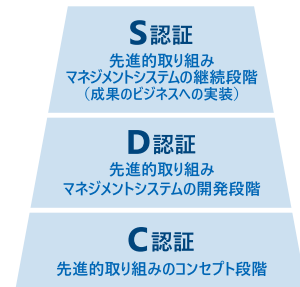
Providers

認証対象

先進的な取り組みを行う
組織



- サステナブルで競争力のある革新的なビジネスの確立をサポート
- イノベーション活動における組織成熟度に応じた3段階認証



& YOURS

日々進化するイノベーションやお客様の要望に寄り添って
進化・拡充する柔軟なサービスの提供

再生可能エネルギー

世界的に導入の進む再生可能エネルギーに係る幅広い顧客ニーズに対応した認証・第三者検証サービスを展開しています。これらのサービスを通じ、国内外の持続可能な低炭素社会の形成に貢献してまいります。

■ 風力エネルギー

風力発電機や風力発電所を対象に、風車の国際規格である IEC61400シリーズなどに基づいた各種認証サービスを提供しています。さらに、「電気事業法」や「船舶安全法」などの法令に基づく政府代行としてのサービスも多数提供しています。

- ウィンドファーム認証（風力発電所の認証）
- 電気事業法に基づく適合性確認、安全管理審査
- 風車支持構造物 技術審査
- 船舶安全法に基づく浮体式洋上風力発電設備の船級検査

■ 海洋再生可能エネルギー

波力、潮流・海流、海洋温度差といった海洋再生可能エネルギー発電に関わる発電システムの試験機に対する設計評価及びプロトタイプ認証などを実施しています。

■ GWO訓練認証

風力発電設備作業者を対象とした訓練の国際標準を制定する Global Wind Organisation（GWO）の承認の下、GWO標準に準拠した訓練提供機関を認証しています。

■ Marine Warranty Survey （洋上施工に関する保険鑑定）

Marine Warranty Survey（MWS）は、再保険会社の指定を受けた第三者機関が洋上設備の施工（構造物の輸送や設置、ケーブル敷設など）を審査、評価する業務であり、プロジェクトの安全性、信頼性確保に寄与し、保険引受条件として活用されます。ClassNKは大手再保険会社からMWS実施機関としての承認を受け、MWS業務を実施しています。

■ マリンアシュアランスサービス （作業船等に関する各種検査）

作業船及び作業に使用する洋上作業機器の健全性、並びに作業船の運航管理体制を第三者の視点で審査するマリンアシュアランスサービスを実施しています。

- DPアセスメントサービス
- IMCA eCMID（日本人検査員在籍）



再生可能エネルギーサイト



各種技術サービス

■ 鑑定及び証明サービス

- 船舶保険鑑定
- 船舶現状、損傷、耐航鑑定
- 船舶設計、強度鑑定
- 船舶状態評価鑑定（CAP）
- スエズ、パナマ運河トン数測度証明
- 各国、地域特別要件等への適合証明
- 業界標準などへの適合証明
- 船用以外の構造物・機器などの法定検査

■ 材料試験機

ClassNKの試験機規則や日本産業規格に基づく一軸試験機（引張・圧縮試験機）、衝撃試験機、硬さ試験機などの材料試験機の検査・校正を行っており、関連業界より公正な第三者機関として高い評価を受けています。



油圧式力基準機

官公庁船

船級登録をはじめとしたサービスは、商船だけでなく、艦艇、海外向け巡視船、作業船など官公庁船も対象としています。

官公庁船分野においても、国内外で船舶及び搭載機器等への船級及び技術サービスを提供しています。

昨今、官公庁船分野で国際協力・連携していく上で、官公庁船など日本の優れた装備・技術の移転に対する国際社会からの期待が寄せられています。これら装備・技術の日本からの移転についても、日本の船級協会として寄与すべく、ClassNKは、International Naval Safety Association (INSA) 等の活動を通じて国際的に活用できる独自の基準・規格・認証体制の整備を進めており、官公庁船向けに以下の業務を展開しています。

- 官公庁船規則の制定・改廃
- 官公庁船の船級登録及び各種船級サービス
- 船舶・関連製品への第三者検査機関としての図面審査及び立会検査
- デジタルソリューション
- アドバイザリーサービス
- 教育研修支援



出典：海上自衛隊 呉地方隊ホームページ
(<https://www.mod.go.jp/msdf/kure/info/gallery/20220422.html>)



出典：Philippine Coast Guard

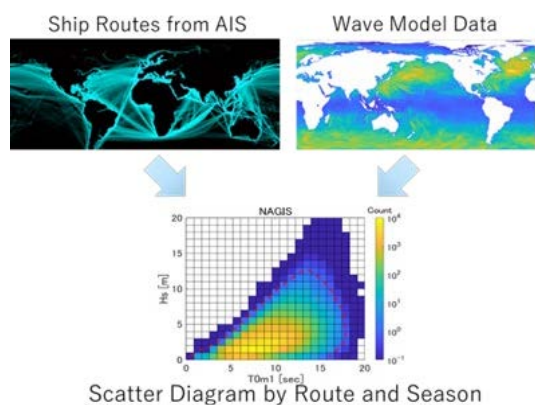
研究開発

ClassNKでは「研究・事業開発ロードマップ」を掲げ、主に船級事業に関わる独自の研究開発や業界関係者とのパートナーシップを通じた様々な研究開発を実施し、本会事業の発展と業界・社会への貢献に努めています。

「研究・事業開発ロードマップ」に示す方針の下、次のような研究開発活動を進めています。

基盤技術をベースにデジタル技術（ビッグデータ解析・IT）を活用した研究開発

- 高い合理性・説明性を有し、代替燃料船等の新規性の高い船舶にも対応可能な構造規則の開発
- パラメトリックロール対策へのIT活用（航海機器やウェザールーティングサービスとの連携）
- 航路・季節に応じたコンテナ固縛の安全性評価



デジタルライゼーションに関連した研究開発

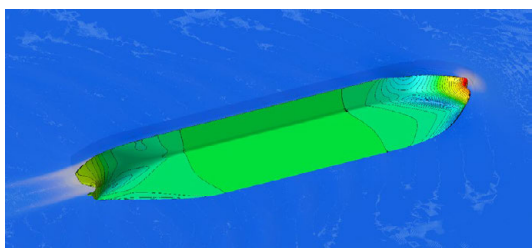
高度化したシステム・組織などを認証するための評価基準と先進的な評価技術等の開発により、社会や海事産業のイノベーションに貢献します。

- 自動運航船の全体システムリスク評価・要素技術の評価
- 船用推進システムの状態監視
- デジタルツインと運航データ解析による最適運航支援



脱炭素・環境対応に関連した研究開発

- 風力補助推進システム
- 代替燃料船の定量的リスク評価
- 代替燃料に対する材料適合性
- 洋上風力発電
- 船舶の推進・燃費性能評価
- 船舶水中騒音



ガイドラインの公表

研究成果などを踏まえ、代替燃料船、自動運航船といった先端技術に関するガイドラインを公表し、それに基づく基本設計承認(AiP)などの認証を実施しています。



人材育成

長年にわたる検査や技術研究から蓄積した経験、知識を基に、業界全体の人材育成への貢献のため、情報提供を積極的に行っています。

ClassNKは、教育サービス「ClassNKアカデミー」を提供しています。全世界で年間2000名以上のご参加を頂き、人材の育成にご活用いただいています。集合研修では、船舶の設計・建造・運航・保守に携わる方々を対象に「船舶検査」、「国際条約」、「船舶管理」といったテーマごとに網羅的に学習するための講座などの多彩なカリキュラムを提供し、E-Learningでは新入社員や内定者向けの「はじめての海運・造船講座」、「そのつぎの海運・造船講座」や、海事サイバーセキュリティ関連の講座を提供しています。また、技術やGHGといった規制の最新動向を広く紹介するセミナーを国内外で開催しています。

ClassNKアカデミーサイト



国際活動

技術の専門家として培った高度な知見を通じ、国際的なルール策定に貢献しています。

ClassNKは、国連の専門機関である国際海事機関（IMO）や、世界の主要な船級協会で構成される国際船級協会連合（IACS）、国際電気標準会議（IEC）といった機関における基準検討に専門家を派遣するなど、国際的な場で、その知見を通じた貢献を行っています。

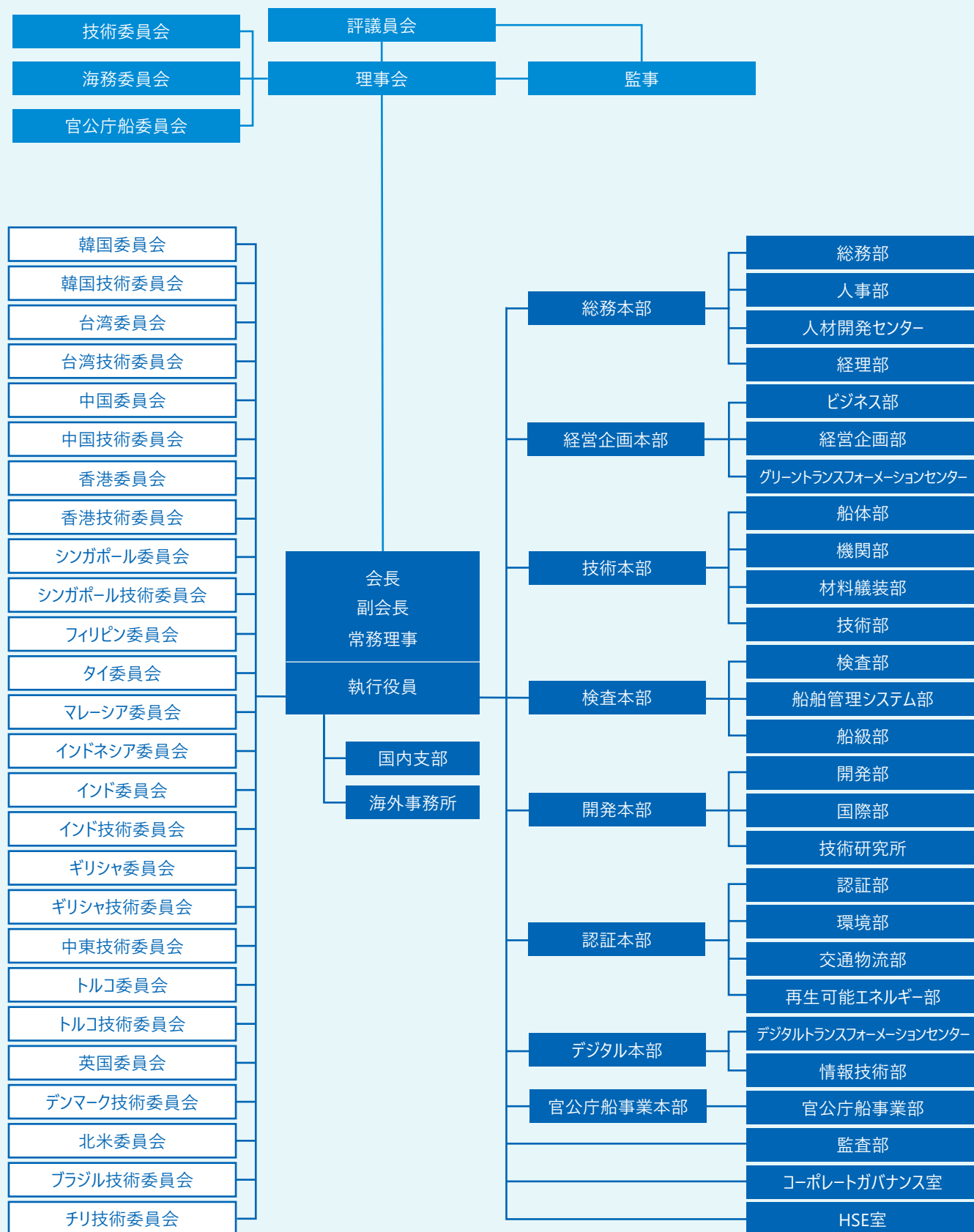
特にIACSにおいて、ClassNKは創立以来のメンバーであり、最高議決機関であるカウンシルの議長協会をこれまで5度務めました。IACSメンバー協会の共通ルールとなる統一規則（Unified Requirements: UR）、統一解釈（Unified Interpretations: UI）などの制定作業を主導するのみならず、IACSの活動が公正かつ透明に実施されるよう、積極的に組織運営に参画しています。

また、世界各地に業界の有力者、有識者を招聘したClassNK委員会・技術委員会を設立し、これらの地域における海事産業の発展を支援しています。



組織

2026年4月現在



目次

経営理念 / ビジョン / プロファイル	1
環境に関わる課題解決 / デジタルトランスフォーメーション / ClassNKのスローガン	2
沿革 / サービス概要	3
ネットワーク / ClassNKグループ	4
船級・条約	5
サイバーセキュリティ	9
ClassNK トランジション サポート サービス	10
認証サービス	11
イノベーションエンドースメント	13
再生可能エネルギー	14
各種技術サービス / 官公庁船	15
研究開発	16
人材育成 / 国際活動	17
組織	18

一般財団法人 **日本海事協会**

〒102-8567 東京都千代田区紀尾井町4番7号

TEL: 03-5226-2040

Email: eod@classnk.or.jp

www.classnk.or.jp

記事の転載をご希望の方は、上記までご連絡ください。
©2026 Nippon Kaiji Kyokai (ClassNK)

